

うえるうえる

Well Well

第26号

五月二十五日 友愛会バス旅行 京都嵐山へ



二〇〇八年春号

坂井瑠実クリニックが
消えてなくなる
ことのないように！



坂井瑠実クリニック理事長
坂井 瑠実

ほぼ恒例になった2年に1度の診療報酬改定、この4月、透析関連は大幅なダイアライザーの引き下げがありました。当院で一番多く使っているダイアライザーで請求価格1800円。この価格は回路、針、開始・回収セットc（ほぼ750円）を含んでいますので、血液が固まってダイアライザーや回路を交換しても、穿刺ミスで余分に針を使っても赤字になります。連日後期高齢者医療でマスコミはにぎわっていますが、イギリスのサッチャー首相は財政再建のため後期高齢者の透析を保険から切り捨てました。日本ではそんなことはないと思われていますが、不安です。国に対して、ものを言える“窓口”を大きくする必要があります。患者会（友愛会、腎友会）にまだ入会していない皆さん！ぜひ入会して、声を大にして質の高い透析医療の継続を訴えてください。隔日透析および週4回透析が増えている現状で、月14回しか請求がみとめられない透析の技術料を請求可能にしてほしいし、在宅血液透析の機器のレンタル料を、使用する機器に見合うものにしてほしい等々診療報酬への要望は尽きません。今回の改定では、透析時間が長いほど生命予後がよいという結果に基づいて透析の時間区分が復活しました。必要な人には少しでも透析時間を延ばすよう努力してきた当クリニックとしては、額ともかくこれだけは評価できるものでした。経営能力のない坂井瑠実は、個々の患者さんにあわせた良い医療が経営を成り立たせる唯一の方法と信じてやって来ました。

“患者さんが元氣”が坂井瑠実クリニックの誇りです。自信を持ちすぎず人並み以上の仕事はしないでください。仕事は大事ですが、今まで出来なかったことを一気にしようとするのはやめてください。食べすぎ、飲みすぎは嚴重注意！増加は体重の5%を守って下さい。末永く元氣で普通の生活を送っていただきたいものです。昨今透析施設もあちこちで統廃合がすすみ、経営的に一段と厳しい時代になってきていることを実感します。

坂井瑠実クリニックが消えてなくなることはないように、一緒に頑張ってください。

スプリングセミナー

平成20年4月13日、ホテルプラザ神戸でスプリングセミナー2008が行われました。

今年には六甲アイランド病院循環器科部長三上修司先生の透析患者さんの心臓病についての講演と、菊地耕三看護師の移植の話があり、会場を埋め尽くした120人あまりの患者さんと家族、職員は今一番興味のある二つのテーマに熱心に聞き入りました。

透析患者さんの心疾患について

六甲アイランド病院循環器科

三上修司



三上先生は循環器専門医であると同時に透析指導医でもあり、当院の心臓疾患の患者さんの治療を引き受けていただいています。心臓の働きから実際のカテーテル治療の様子まで動画やイラストを使って分かりやすく説明されました。紙面の都合で全部はお伝えできませんが、心臓病の予防、早期発見のために何をすべきかを、後日いただいた原稿をもとにご紹介します。

透析導入の原疾患は1998年から糖尿病性腎症が1位になっていきます。糖尿病患者は透析導入時にすでに何らかの心臓病に罹患していることが多く、これは今後透析患者全体として心臓病が増加していくことを意味します。

心臓病は虚血性心疾患、心臓弁膜症、心筋症などに大きく分類されま

虚血性心疾患とは

すが、臨床的に最も重要でかつ頻度が高いのが虚血性心疾患です。ここではその概要並びに心臓とドライウイイトについての話をします。

心臓の表面には心臓（ポンプ）を動かすために心筋に血液を送る冠動脈が取り巻いています。その冠動脈の内壁が動脈硬化によって狭くなり十分に酸素を送れない状態を虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞、冠動脈硬化症）といいます。車にたとえてみれば、エンジンの燃料を供給するためのパイプがゴミで詰まりかけた状態です。それゆえにパイプのゴミを掃除して燃料を送ってやればエンジンは動きだすのです。虚血性心疾患は冠動脈のつまりを解決してやればある程度解決します。

狭心症は冠動脈が細くなったために起こる疾患で、体を動かす（心拍数が上昇し心臓が余分に血液を欲する）と胸の痛みが生じ、安静にすれば胸の痛みはなくなるといった症状を呈します。

一方心筋梗塞は冠動脈が血栓で急に詰まる病気です。突然心筋に血液が流れなくなつた結果その領域の心筋は壊死し、心臓のポンプ機能は低下して心不全症状をおこします。また致命的な不整脈、あるいは心破裂などが起こることが非常に重篤な病気です。狭心症と心筋梗塞の間の病態（不安定狭心症）もあります。

不安定狭心症や心筋梗塞は心事故と呼ばれており、まさに突然発症で



突然死する可能性もあり、何とか予防したい病気です。

胸痛が起こつたら

体を動かした際に胸痛を訴える方は、まず外来で運動負荷心電図検査、心エコー検査、心臓核医学検査などを行います。その結果必要であれば入院していただいて心臓カテーテル検査を行います。冠動脈に狭窄がある場合は風船治療、ステント治療を行います。ただしステント治療を行った場合にはその後長期にわたって血液をさらさらにする薬を内服していただく必要があります。

突然耐え難い胸痛が起こる急性心筋梗塞は一刻を争います。この場合は直ちにカテーテル治療を行い詰まった血管を広げます。

透析の心臓への影響

透析患者の心疾患治療にはいくつ問題点があります。まずカルシウムやリンの代謝異常により血管全体

が硬くなっています。通常の血管内側の動脈硬化に加え、血管外側にも石灰化が起こり、風船治療、ステント治療が難しくなっています。また貧血、シヤントの存在、交感神経過緊張状態などにより透析していない方と比べ心不全になりやすい傾向にあります。

適正体重について

ドライウエイトはその人自身の体重のようなもので、ずっと同じであることはあり得ません。季節によって痩せたり太つたりすると同様こまめに見直さなくてはなりません。

透析患者でも心臓の丈夫な人は、余分に飲み食いしても多少むくみが出たり心胸比が大きくなつたりするだけで除水すれば元に戻ります。ところが心臓の悪い人は、余分な水分が貯留してくると心臓が耐えられずすぐに肺に水が溜まってしまい、呼吸困難をきたします。

暴飲暴食ではなく、通常の生活を

しているにもかかわらず心胸比が大きくなるのは心臓に何か起こつたサインです。この場合除水だけでなく心臓の精密検査をしなければなりません。また食欲がないにもかかわらず（痩せてきているにもかかわらず）ドライウエイトを一定にしておく徐徐に余分な水分が溜まってきて心臓を苦しめていることがあり注意が必要です。

心臓病をお持ちの方は今一度自分のドライウエイトが適正かどうかをスタッフに相談してみてください。

本日は虚血性心疾患とドライウエイトの話をしました。胸が痛い、息切れが以前より激しい、体がむくむ、食欲がないなど普段と違った症状が出たら早めに担当医に相談して循環器科を受診してください。突然激しい胸痛に襲われたときは直ちに救急車を呼んでください。

そして透析間の体重増加を3%、5%に抑えて適正なドライウエイト

を保つよう心がけてください。



スプリングセミナー 献腎移植について

菊地 耕三

移植医療とは重い病気等により不全状態になった臓器を入れ替えて回復させる治療です。それには第三者の善意による臓器の提供がなければ成り立ちません。移植医療には社会の支援が必要不可欠です。

わが国で実施されている臓器移植は心臓、肺、肝臓、脾臓、腎臓、小腸、角膜です。このうち、心臓、肺、肝臓、小腸は脳死状態で臓器の抽出を開始しなければ移植後に臓器が機能しません。脾臓と腎臓は心臓が停止した死後に臓器の抽出を行っても機能する臓器です。



菊地耕三さんは10年余り透析医療に従事した後、平成7年より日本移植ネットワークに在籍し、アメリカでも移植医療について学び、12年間移植に関わってきました。昨年11月から芦屋坂井瑠実クリニックで看護師、臨床工学技士として勤務しています。移植コーディネーターとしての豊富な経験から現在の移植医療を一時間にわたって講演しました。

(当日出席されなかった皆様に菊地さんからの原稿を掲載します。)

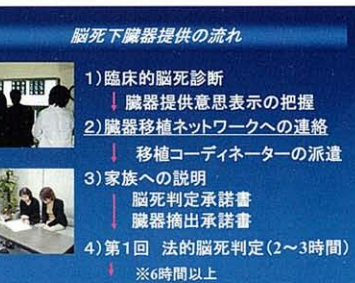
本日は、腎臓移植、主として死後に提供された腎臓を移植する献腎移植について話をします。

献腎移植には脳死後に提供された腎臓を移植する脳死献腎移植と心臓が停止した死後に提供された腎臓を移植する心停止後の献腎臓移植があります。

脳死献腎移植

脳死とは脳幹を含む全脳の機能が不可逆的に停止するに至ったと判定される状態を言います。この場合の判定とは法律に定められた脳死判定で、年間10名前後の方がこの判定を受け、法的に脳死と判定され臓器提供を行っています。脳死臓器提供を行うには、本人が臓器を提供する意思、および脳死判定に従う意思を書

面に表示していること、家族が臓器提供および脳死判定を拒まないことが条件となります。加えて、法的脳死判定が行える施設が、救急医療の関連分野において高度の医療が行える大学附属病院等の約400施設に限定されています。



スライド1

から腎臓提供をして頂いています。心臓停止後の腎臓提供の場合は、先に

脳死臓器提供は、法的脳死判定が終了した時点で法的に死亡となり、その時点で臓器抽出の日時が決まります。心臓の停止を待つことなく臓器の抽出を開始するので、献腎移植候補者として連絡を受けてから概ね2日以内に腎臓の移植が実施されます。(スライド1・2脳死下臓器提供の流れ 参照)

心臓停止後献腎移植

心臓停止後の腎臓提供は、瞳孔の散大、呼吸の停止、心臓の停止が確認され、死亡宣告がなされた後に腎臓の抽出を開始します。心臓停止後の腎臓提供には法的脳死判定も臓器を提供する生前の意思表示も必要なく、ご家族の判断で腎臓の提供が可能で、年間80名、100名前後の方々

述べたように、心臓が停止し、死亡宣告がなされた後に腎臓の抽出を行います。心臓の停止は、ご家族から腎臓提供の承諾を得て数時間後に訪れる場合もあれば、数ヶ月に及ぶ場合もあり予測が付きません。献腎移植候補者として連絡を受け、直に腎臓の移植が行われる場合もあれば、移植が実施されるまで長い期間待たなければならない場合があります。

レシピエント選択基準

献腎移植レシピエント選択基準は、血液型、搬送時間(腎臓提供施設と移植実施施設の所在地)、HLA型のみスマッチ数、待機期間等が考慮されます。搬送時間については、た



スライド2

たとえば、兵庫県の病院内の病院に入院している方から腎臓提供をして頂いた場合は、兵庫県の16歳未満の小児待機患者には14ポイントが無条件で加算され、これらの合計ポイントが高い順に優先されます。血液型は腎臓提供者と一致していることが条件となります。同ポイントの献腎移植希望者が複数存在する場合は、搬送に要する時間、医学的条件等の事項に配慮されます。

献腎移植の現状

2007年は105名の方から腎臓の提供を頂き、187件(1腎のみ)の移植(7件)の献腎臓移植が実施されました。献腎移植を受けられた方の平均待機日数は14年7日で、最短待機日数は220日、最長待機日数は9012日でした。平均透析期間は17年199日で、最長透析期間は424日、最長透析期間は12899日でした。レシピエントの平均年齢は47.5歳で、最年少は3歳、最年長は72歳でした。

献腎移植後の生着状況は161件の分析です。161件の内、149件(92.5%)が生着しています。移植後に移植腎が廃絶した件数が9件、死亡は3件でした。

献腎移植の登録

現在、兵庫県で献腎移植が行われている病院は神戸大学医学部附属病院、県立西宮病院、兵庫医科大学病院内の3病院です。その中から献腎移植手術を受ける病院を決めて受診します。登録にはHLA検査料3万円、日本臓器移植ネットワーク新規登録料3万円が必要です。兵庫県在住者に限り、HLA検査料に対して1万円の助成、新規登録料に対して5千円の助成を受けることができます。

その後の登録更新料として毎年5千円が必要となります。

2008年4月1日現在、近畿2府4県の登録人数は、滋賀県67名、京都府236名、大阪府631名、兵庫県545名、奈良県227名、和歌山県127名の計1833名です。2007年、兵庫県では11件の腎臓提供、21件の移植が行われており、腎臓提供数は全国で第三位です。兵庫県は545名が献腎移植の登録を行っており、21名が献腎移植を受けるわけですから、確立は宝くじとは比較にならないほど高いことがわかります。

献腎移植に備えて

最後に、献腎移植登録後の注意点を述べます。献腎移植登録後、引越しや携帯電話の買い替え等で連絡先が変更された場合は、必ず日本臓器移植ネットワークに連絡してください。緊急時に連絡が取れない献腎移植希望者がおられます。連絡が取れないと献腎移植を受けることができません。また、献腎移植候補者の連絡はいつ入るかわかりません。直ちに献腎移植を受けるか否かの決断ができるよう心の準備をしておいてください。献腎移植が決まれば3ヶ月前後の入院が必要となります。家族や会社には必ず献腎移植登録を行っていることを話しておきましょう。

献腎移植を受けるのに最も大切なことは常日頃の体調管理です。過度の体重増加を控え心臓に負担をかけること、献腎移植手術に耐えることのできる体力をつけ、風邪など引かないよう普段の生活の中でしっかりと自己管理をすることが重要です。

後期高齢者医療制度と診療報酬改定

4月1日から高齢者の医療保険が大きく変わりました。後期高齢者医療には75歳以上の全員が加入、65歳から74歳までの透析患者さんは現在の保険か新しい制度への加入か選択を迫られました。当院のこの年代の患者さん50人のうち35人が後期高齢者医療制度に加入、現在の保険にとどまった人は15人でした。保険証が届かない、どちらを選べばよいか分からない、保険料の違いはどうかの問い合わせが連日クリニック受付に殺到しました。

後期高齢者医療制度のポイント

- * 対象者は75歳以上の高齢者全員 65歳から74歳までの透析患者など一定の障害のある人の加入は任意
- * 社会保険本人及び被扶養者も、対象者は社会保険を脱退して後期高齢者医療保険に移る。(被扶養者であった人は、保険料の半年免除、その後も減額あり) 国民健康保険被保険者(加入者)の対象者は、国保を脱退し、後期高齢者医療保険に移る。残る家族はそのまま国保となるが、保険料は減る。
- * 一人ひとりが「後期高齢者医療保険料」を払う

$$\text{保険料} = \text{均等割額} + \text{所得割額} \quad \text{上限年50万円}$$
 (低所得者の保険料減額制度あり 7割、5割、2割軽減)
- * 保険料は原則年金から天引きされる
 年金額が年18万円未満、または<介護保険料+医療保険料>が年金額の2分の1を超える人は個別に納付する
- * 診療を受けたときの窓口負担はこれまでと変わらず1割(現役並み所得者は3割)、透析患者の負担は、福祉医療制度(特定疾病・自立支援医療・重度障害者医療)があるので今のところ変わらない。

診療報酬改定

透析に関しては、前回はエリスロポエチン製剤が技術料に包括化されましたが、今回の主な改定は以下の通りです。

- ①平成14年以降廃止されていた実施時間による評価が復活。
- ②ダイアライザーの価格が大幅に引き下げられた。
- ③薬価、CAPD関連の材料価格が引き下げられた。

1点10円

		現行	今回の改定
人工腎臓	1回当たり (透析液、血液凝固剤、生食、 エポを含む)	2,250点	4時間未満 2,117点 4時間以上5時間未満 2,267点 5時間以上 2,397点
ダイアライザー 膜面積1.5m ² 以上	1本当たり (回路、針、消耗品を含む)	2,350円 (同左)	1,800円 (同左)

一人はみんなのために、みんなは一人のために

患者会(友愛会) 会長 中村 弘道

この秋10月に坂井瑠実クリニックは開院10周年を迎えますが、患者会(友愛会)も10年になります。

この機会に患者会を振り返ってみたいと思います。

兵庫県腎友会は、1971年3月「透析医療費を公費負担にして」「人工腎臓を増やして」といった切実な願いのもと、数人の患者・家族が集まり、自らの命と暮らしを守る為に行動を起こしたことが始まりでした。それ以来、私たち腎臓病患者の置かれている立場を強く訴え、理解を仰ぐ活動を重ね、このような活動を通じて多くの願いを実現してきました。こうした活動が続けることができた理由として、会員の皆さんの力強い団結力と家族の方の協力が大きな支えとなったことが挙げられます。お互いに「支えあうこと」が患者会の基本姿勢でもあり、その活動による成果は自ら称えるに値するものと言えます。

しかし、こうした活動の成果で腎不全に対する医療や施策が確立した一方で、腎臓病患者や家族を取り巻く状況も様変わりし、新たな問題も生じてきました。不況下での財政緊縮の影響による医療費の締めつけや福祉制度の後退、長期透析による合併症患者や糖尿病性腎症の増加に伴う通院補償問題など。このような状況変化の中で、会員数が7,000人を超える患者団体に成長しました。また、NPO(特定非営利活動法人)の認証を機に、兵庫県腎友会は改めて私たちの役割をもう一度確認することが必要になってきたと言えます。今後も、腎臓病患者の命と暮らしを守る為の活動を続けていくことは言うまでもありません。しかし、私たちの問題の解決ばかりではなく、県民の理解が得られ、広く一般に信頼されるような行動を行い、社会に貢献する責務も担っていくことが重要と考えます。

兵庫県腎友会は、腎臓病の患者や家族、会活動に賛同する人などが集まって構成されています。そして、

会の運営は皆さんから預かる会費で成り立っています。皆さん一人ひとりが腎友会を支えていることとなります。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」これが腎友会を運営する基本理念です。

医療や患者を取り巻く問題はたくさんあり、これらを解決する為にはどうにもならないことも多く、同じ悩み願いをを持った仲間が集まって組織を作り、一人ひとりの小さな声も集めて、大きな声で訴えることが大切なのです。全腎協や兵庫県腎友会の活動によって透析患者の命と暮らしを守る為、国会や県、市町、関係機関などに働きかけた結果、次の様な事項が実現しました。身体障害者に対する医療費補助制度の適用によって透析の自己負担の軽減。公共交通機関の料金割引制度。有料道路通行料金割引制度。駐車禁止除外ステッカーの交付。障害年金。携帯電話のハーティー割引。公共料金の利用料減免制度。税金の減免制度等、他の病気の患者さんより恵まれた環境にあると思います。ですが、毎年患者数が増えながらも、組織率は患者の高齢化により減少しているのが現状です。

坂井瑠実クリニック友愛会でも例外ではありません。現在、未加入の患者さん、この機会に患者会のご理解頂きは是非加入してもらいたいと思います。理事長をはじめスタッフの皆さんにもご協力宜しくお願いします。

最後に私の自慢話を聞いて下さい。透析歴9年目に入りましたが、還暦も過ぎながら、仕事もし充実した透析生活を過ごしています。毎朝6時に起き、雨の日も嵐の日も摩耶山へ登りラジオ体操をして帰ってきます。この秋には、5,000回達成予定で、神戸市からの表彰を楽しみに頑張っている今日この頃です。皆さんもそれぞれが毎日目的を持って元気で透析生活を頑張っていきましょう。



友愛会 2008年新幹事さん紹介

Aグループ(月水金午前)

大友みね子 河本英子
田中美幸 森光貞夫

Bグループ(月水金午後)

石川庄二郎 中村弘道
平山幸雄

Cグループ(火木土午前)

有馬義春 迫田ゆき
藤本寿一 若林真紀子

Dグループ(火木土午後)

日野千賀子 前田節子

Eグループ(CAPD)

清水真弘 島田美智子

芦屋 A 岡田和信 B 北田秀樹 D 泊一誠 E 宮内しのぶ

F 渡辺由布子 G 大下祥子 H 井上稔

*患者会のご意見ご質問は各グループ幹事さんまで・・・

岡本副院長のご紹介

本年1月21日、岡本久美先生が坂井瑠実クリニックの副院長に就任いたしました。

岡本先生は日本透析医学会の専門医・指導医と日本腎臓学会の専門医を併せ持つ腎臓専門のDr.です。

岡本先生に就任の挨拶をお願いしました。



岡本久美副院長

ごあいさつ

このたび坂井瑠実クリニックの副院長を務めることになりました。

はじめにお話があった時はすぐにはお返事で済まなかったのですが、坂井先生の「私があなたの年にはもう院長をやっていたのよ。副院長ぐらいやらなきゃダメ」というお言葉に背中を押されてお引き受けいたしました。よろしくお願ひ致します。

私は大学卒業以来ずっと腎疾患、腎障害を伴う膠原病、腎不全治療に取り組んで来ました。総合病院に勤務していた時は、外来診療や透析の導入依頼、外科などで発生する急性腎不全の治療、特殊な血液浄化療法の依頼などであわただしく過ぎてしまい、透析室にいる時間も短く、透析患者さんたちとゆっくりお話をする機会が少なかったように思います。

坂井瑠実クリニックでは腎疾患の患者さん、血液透析、腹膜透析、腎移植後の患者さんと長期にわたってじっくりと向かい合い話し合って治療をする信頼関係を築いて行けるところにとってもやりがいを感じます。5年先、10年先の健康状態に対して今の治療がベストであるのかどうか考えて提案するのはあくまでも医師および医療スタッフですから責任の重さも感じています。維持透析は体調が安定してきている方にとっては日常の一部になっています。昨日と今日とでそれほど体調に変化がなく、治療の効果が実感しにくいかも知れません。そこが急性期の医療と少し違って、ある意味難しいところだと思っています。治療が長期にわたるため先の目標を持ちにくく、自分らしい生活が送れないように感じストレスになってしまうこともあると思います。1年以内くらいの短期目標（たとえば新しい趣味を見つけるとか）と5年先の長期目標（前からやってみたく思っていたことを実行するなど）を持っていただき、ときどきは医師、スタッフと相談して透析を見直す機会をつくるとよいのではないのでしょうか。おひとりおひとりの思いを大切にしてください。

《腹膜透析交流会&勉強会開催》

4月12日御影・芦屋から14名の患者様とご家族の方々にご参加頂きました。

参加者の自己紹介に始まり、腹膜炎時の対応についての勉強会、最後は皆様の質問に対する坂井理事長からの返答コーナーと、あっという間の2時間でした。参加者の方々からは、腹膜透析を始めて10年選手のベテランから、近い将来に腹膜透析を始めるであろう方まで様々な経歴からの体験談や質問が交わされました。終了後のアンケートでは、「色々な意見や体験談が聞けて良かった」「参加者同士の話し合いがもっと良かった」「不

良な出口部の写真などがあれば良かった」など貴重なご意見を頂きました。

今後も皆様からのご意見を参考に交流会を開催する予定です。



オーストラリア旅行

小島 はる美

オーストラリア在住の妹より姪の結婚式の招待を受けたのは、昨年8月頃の事でした。

色々悩んだ末、坂井先生に御相談した所、二つ返事で行ってらっしゃいと明るい院長スマイルで答えて下さり、やっと決心いたしました。早速妹にシドニーの病院をチェックしてもらい検査書類手続き等、院長はじめ岡本先生、スタッフの皆様に大変御面倒をおかけいたしました。

2月27日

透析後出発、翌朝シドニーに着き、妹の案内でノースシドニーの病院近くのホテルにチェックインし、病院（マータホスピタル）を下見しましたが、清潔な感じの総合病院で、ひとま



ず安心。透析室はイス式で10床、ドイツ式の機械、ダイアライザーは、日本と同じもので針は短くて少し太く蝶のような形でした。婦長のヘレンさんが、私の23年間の透析歴を聞き良い治療をしているのですねと感心しきり。

2月29日

AM7時より透析開始、朝食は自分の好きな物を選ぶことが出来、紅茶とサンドイッチを食べ4時間で順調に終了。1回の費用は、750\$。その後電車で1時間のヘレンスバーグの妹の家に宿泊。



3月1日

結婚式に出席しましたがビーチでの式で驚きました。披露宴では、主人と私（特に私が透析をしている為）大歓迎していただき本当に来て良かったと思えました。ヘレンスバーグの夜は美しい星空でした。ポッサムという夜行性の動物が木に登っているのを見ました。

3月2日

朝野生のオームの鳴き声で目覚め、「ああ、オーストラリアに来ているんだ」と実感しました。透析に備えキリビリハウスの近くのホテルにチェックイン後、クルージングでマンリービーチに行き、その海的美しさに感動しました。



3月3日

AM8時より4時間透析2日あきのため体重が増え除水率700ml/hで大変でした。その後シドニー市内を見物後、再びヘレンスバーグへ。

3月4日

近くのビーチで泳ぐ。

3月5日

AM10時より透析4時間順調に終了。スタッフの皆様とオーストラリアの大自然に別れをつげ

3月6日

帰国の途に着きました。我病院坂井瑠実クリニックの素晴らしさを実感し、院長はじめスタッフの皆様の下での23年間の透析に感謝いたします。



海外へ出かけるために

- *まず主治医に相談し（少なくとも2ヶ月前までに）許可を得て下さい。
- *現地の透析施設を探しましょう。
- *透析終了後は必ず診療内容明細書、領収書を貰って下さい。
- *帰国後の還付請求は社会保険事務所、市町村の国保窓口で。支払った金額の一部が約2ヶ月後に返ってきます。

クローズアップ Close up

ドイツでの半年

青木郷代

振り返れば2006年は3度の往復で通算半年余りをドイツで過ごしていました。末娘一家が転勤でフランクフルトへ引っ越ししてしまったのです。絶好の機会と思い、腹膜炎直後で坂井先生にご心配を掛けながら関西空港に向かっていました。

空港では障害者であることを申告すると、構内を走る小さな無蓋車でスイスイと運んでくれました。休憩室にも迎えに来てくれ、12時間を過ごす座席まで案内してくれました。まるでVIPのような扱いに面映ゆい思いでしたが、大変有り難いことでした。

CAPD液はドイツが本拠というフレゼニウス社のものに換えました。ドイツでの最初の配送の時、思いこみの恐ろしさを知らされました。当然セットになっていると思っていたキャップが来ないのです。別々に注文しなければならなかったのです。両手に透析液の箱をぶら下げて入り口に立ちただかった配達の大男には圧倒されましたが、心ばかりのチップにニコッと笑った顔はあどけなく可愛いものでした。

日本でフランクフルトと呼んでいるソーセージの美味しかったこと！肉屋で生のものを買ってきて家で茹で上げます。油断をするとパカッと裂けてめくれ上がり、味が抜けてしまいます。パンパンに茹で上がったものにかぶりついた時のジューシーな味は忘れられません。

世界三大テナーの一人と言われるホセ・カレー

ラスのリサイタルにも心揺すぶられました。耳慣れた曲は1曲もなかったのですが、さすが世界のテナー！夢の中に包み込まれるような歌声にうっとりしている中に、夕べの一時は過ぎていきました。帰途、娘と二人並んで歩いた夜道の静けさは未だに身に纏わり付いています。

日本国内では不可能な、車で国境を越えるという経験も出来ました。



血液透析導入2年後に腹膜透析に移られた青木さんは、今では腹膜透析歴13年半という当院の記録保持者です。

腹膜炎の繰り返しや、2度のカテーテル入れ替え等、大変なご経験もされましたが、海外での腹膜透析生活も楽しまれ・・・一見困難事が青木さんの手にかかると、不思議と何とかこなしてしまうという、脱帽の行動力・精神力の持ち主です。

ナポレオンが敗退したというベルギー・ワテルローのライオンの丘に3歳になる孫娘と一緒に登りました。「ばあば こっちだよ～」と手招きする幼子の声に、神経痛に痛む脚も忘れて226段の石段を登りきりました。晴天に恵まれた360度の風景を見渡した時の感動には、今も胸が震えます。

オランダでは何と言っても風車です。車で進む中に写真

で見たことのあるあの風車群が目の前に現れたときの感激も忘れられません。何基も立ち並ぶ風車の一つが観光用に開放されていて、中の階段を上ることが出来ます。自分の立っている直ぐ傍をあ

の巨大な羽根が回っているのは不思議な感覚でした。多くの方々のお力添えで又とない経験の出来たことを心から感謝しています。

今年も阪神タイガース応援ツアーを予定しています。

8月26日(火) 阪神VS中日戦です。

詳細は7月末ポスターにて！ 多数のご応募まってまーす。

タイガースが
元気です!!

話題の新薬レグパラ錠（一般名シナカルセト塩酸塩）

新しいタイプの二次性副甲状腺機能亢進症治療薬レグパラ錠が1月に発売されました。

二次性副甲状腺機能亢進症は慢性腎不全の進行に伴って発症する、透析患者さんにとって主要な合併症の一つです。副甲状腺ホルモン(PTH)が過剰に生産・分泌されている状態です。

PTHは骨からカルシウム(Ca)を抜き取って血中に返す働きをしています。

PTHが過剰に生産・分泌されることで、いわゆる透析骨症（繊維性骨炎）や動脈硬化などの心血管系障害の原因になる異所性石灰化が起こります。

「作用機序」

レグパラは副甲状腺細胞の膜表面に存在するCa受容体に直接作用し、Ca濃度が上昇した場合と同様に、副甲状腺ホルモン(PTH)の分泌を抑制します。平たく言うと副甲状腺にCa濃度が高いと錯覚させるわけです。

「特徴」

これまでの薬物療法（Ca含有リン吸着剤や活性型ビタミンD製剤）では、高Ca血症を生じる可能性があったのですが、レグパラは血液中のCaを上昇させずにPTHの分泌を抑えます。

二次性副甲状腺機能亢進症治療ガイドラインに則って、PTHをコントロールする治療薬にレグパラが新たに加わりました。

服用に際しての注意点・副作用などについては、「レグパラを服用される患者さんへ」をお読みください。

レグパラを服用される患者さんへ
大切な注意です、必ずお読みください。

25mg錠 75mg錠
色: 淡黄色 淡黄色
形状: 円形 円形

レグパラのはたらき
骨中のカルシウム濃度を低下させ、二次性副甲状腺機能亢進症を抑制する効果です。
この結果、PTH分泌が減少し、骨中のカルシウム濃度を低下させる等の作用がありますので、ご注意ください。

レグパラ
PTH ↓
カルシウム ↓
リン ↓

キリンファーマ 開発部



平尾

今期で3期目になりますが、まだまだ不慣れで…。他の委員の方や、スタッフ・患者さんの力を借りて今期も頑張ろうと思います。よろしく願いいたします!!



杉本

はじめまして、今年度よりうえるうえるの編集委員に参加させていただきます杉本です。

毎号読者として楽しみにしていたものを、今度は作り手として盛り上げていく責任感にやや緊張していますが、頑張りますのでよろしくお願いいたします。

小野寺

今年度初めてうえるうえる編集委員をさせていただきます。皆さんの身の周りの出来事が詰まった情報誌ですから読んでくださいね。1年間よろしくお願いいたします。

城井

今期も引き続き編集委員長をさせていただきます。編集委員が入れ変わることで、新たな視点や考え方に気付かされ、頭の体操ができることを楽しんでいます(笑)

今年も記事の感想やご意見など、お聞かせ下さい。よろしくお願いいたします。

岡田

「うえるうえるに載ったね!」「次は、私が載せて貰おうかな?」って気軽に言って貰えるような機関誌を目指して、創刊当時より編集委員をさせていただきます。皆さまからの活発なご意見等をお待ちしております。

佐川

御影の病棟で勤務しています、看護師の佐川香織です。坂井瑠実クリニックに来て、まだ一年足らずです。まだまだ勉強不足ですので、いろんな行事に参加し、皆様と共に学び、そして楽しみ、それをこのうえるうえるを通して伝えることができれば良いと思っています。よろしくお願いいたします。

中岡

ガッツリと濃い内容をスッキリとスマートに伝えるホッポリとあったかい「うえるうえる」でありたいと思っています。

窪

今期も読みやすく、楽しく、明るい紙面作りに頑張っていきたいと思っています。宜しく願いいたします。

おこしやす! IN京都

平成20年5月25日(日) 友愛会患者会「バスツアー」に行ってきました。参加者75名を乗せた2台のバスは8時半に御影を出発。高速道路を順調に進み京都嵐山「時雨殿」に到着しました。

ここは小倉百人一首をいま流行のDSを使ってデジタルエンターテインメントの出会いとの空間、体感型施設です。京都空中散歩や大きな百人一首の札を探したりしました、体感かるた五番勝負など子供から大人まで楽しめました。ここで、参加者全員の記念写真を撮り次は、待ちに待った昼食です。

嵐山ほぼ中央にある大本山天龍寺で「精進料理」を頂き、食後は各自天龍寺の中庭を散策してから嵐山付近へ、渡月橋、竹林散策、買い物などそれぞれにお目当てを満喫。3時に京都を後に…帰りのバスでは、阪神の逆転劇に大盛り上がり!大満足な一日でした。

幹事の皆さん、いつも楽しい企画を有り難うございました。

岡田京子



編集後記

編集委員 城井慶子

春は新入学・新学期のシーズンですが、新たに透析導入された方々はいかがお過ごしでしょうか？

大変な日々をお過ごしの方もそうでない方も、うえるうえるに出てくる長期透析者の方々や先生達の励ましの言葉に耳を傾けてみて下さい。時として、人や仲間との出会いは人生を左右するほどの影響力があるのではないのでしょうか。

うえるうえるが皆さんを繋ぐ一助でありますように。



発行所

医療法人社団

坂井瑠実クリニック

電話〇七八八二二一八一

千六五八一〇〇四六

神戸市東灘区御影本町丁二一〇

発行責任者 坂井瑠実

顧問 三上珠実

編集責任者 城井慶子

発行日 平成二十年五月三十一日

印刷 田中印刷出版株式会社

〒六五七〇八四五

神戸市灘区岩屋中町
三一―四



坂井瑠実クリニックホームページ

<http://www.sakairumclinic.jp>